

静岡県東部地域企業経営動向調査

2009年4～6月期実績
2009年7～9月期見通し

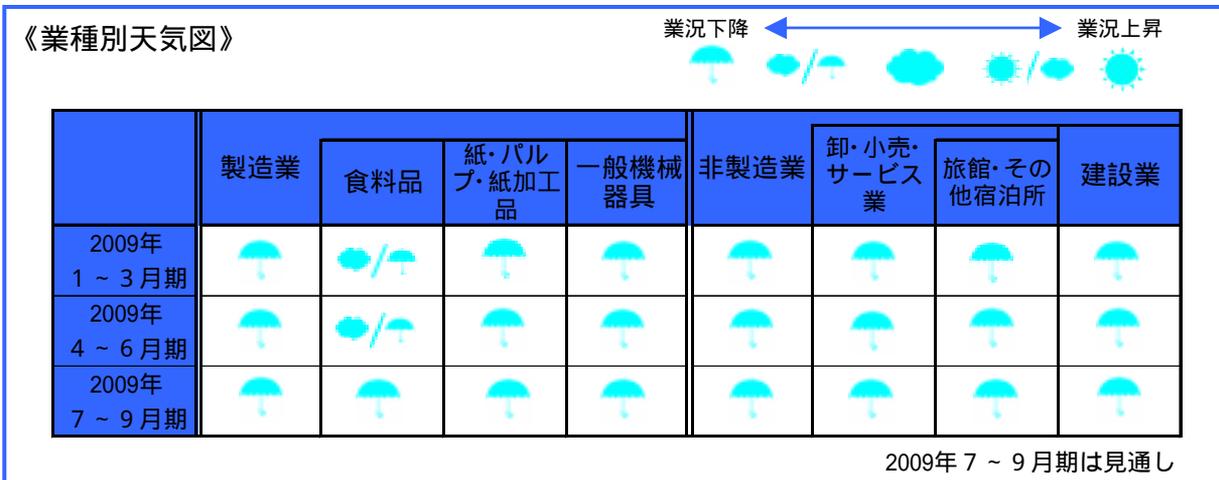
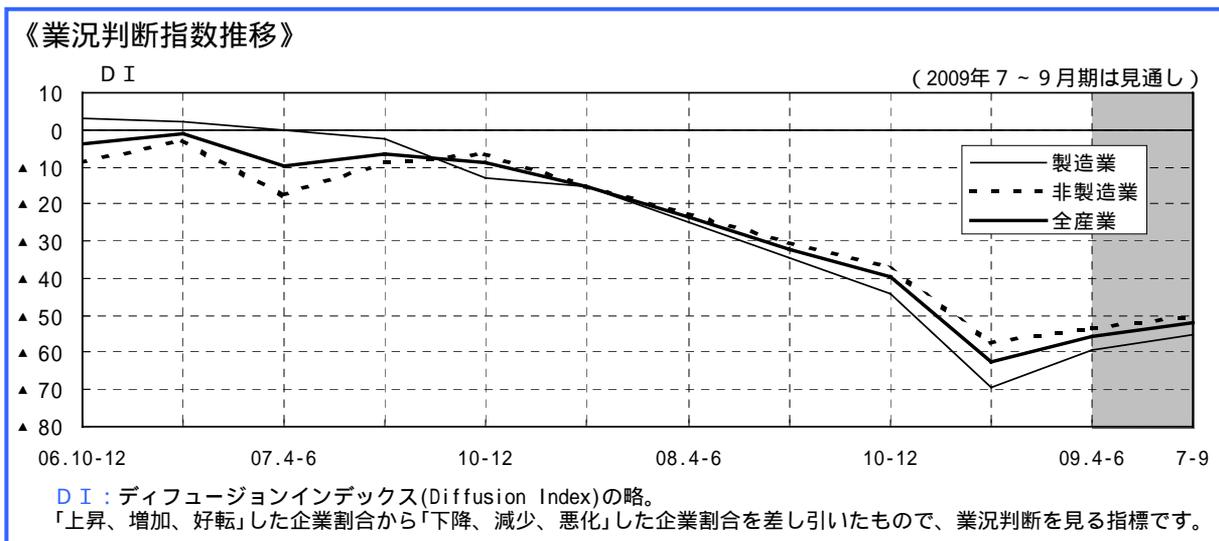
財団法人 企業経営研究所

〒411-0036 三島市一番町15-26
TEL 055-981-3033 FAX 055-981-5888
URL : http://www.srgi.or.jp

業況概要(自社) ～業況判断DIは若干上昇に転じるも、依然低水準～

静岡県東部地域における2009年4～6月期の業況判断DI(対前年同期比)は、全産業で▲55.6(前期▲62.4)と前期の大幅な下落から反転して若干上昇したものの、依然として低水準にとどまり、引き続き厳しい業況判断となっている。うち、製造業の業況判断DIは▲59.3(同▲69.4)、非製造業では▲53.5(同▲57.6)で、製造業の回復幅が若干大きく、非製造業との差は縮小している。

2009年7～9月期の予想DIは今期比若干の回復を予想しているが、それでも全産業で▲52.0(うち製造業▲55.0、非製造業▲50.3)と低い水準にとどまり、明確な回復傾向は当面期待薄の状況とみられる。



《調査の概要》

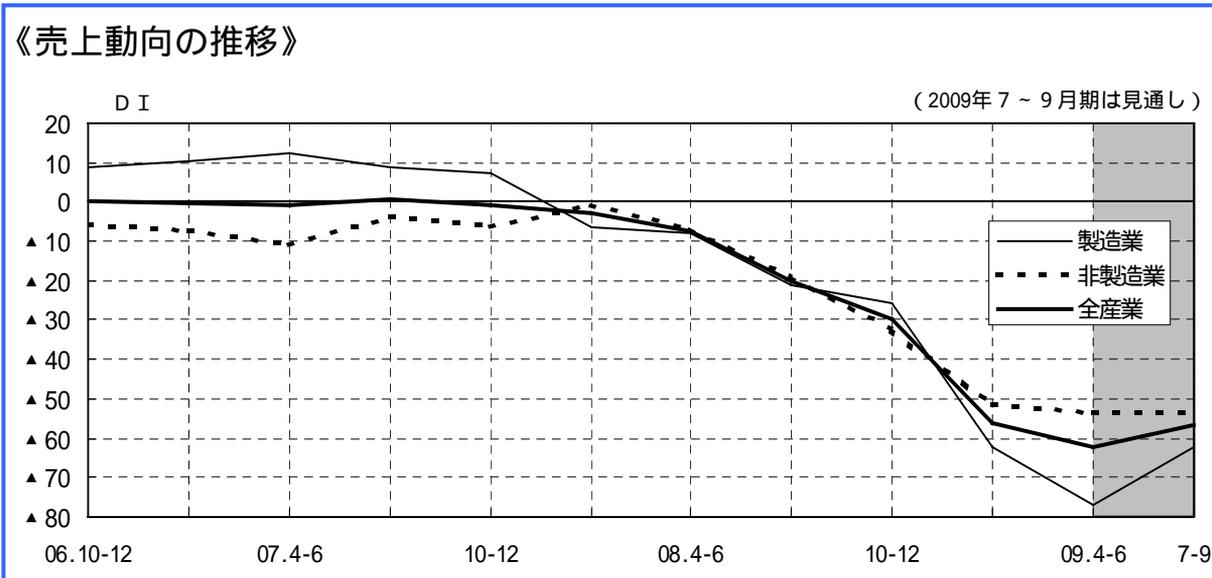
- | | |
|---|--|
| 1. 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握 | 3. 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査 |
| 2. 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,020社
回答数 294 (回答率 28.8%)
業種別企業数は4ページ図表を参照 | 4. 調査対象期間
実績:2009年4～6月期
見通し:2009年7～9月期 |
| | 5. 調査時点
2009年5～6月 |

売上動向

製造業はさらに悪化、非製造業も若干の低下

2009年4～6月期の全産業の売上動向D I (対前年同期比)は▲62.2(前期▲55.9)で、大幅な下落を示した前期の水準からさらに悪化し、7期連続の低下となっている。うち、製造業ではパルプ・紙・紙加工品、一般機械器具をはじめすべての業種でD Iが低下し、全体D Iは▲77.1(同▲62.0)とさらに悪化している。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所や建設業でD Iが上昇したが、その他では下落したため、全体D Iは▲53.5(同▲51.7)と小幅ながら低下している。

2009年7～9月期(見通し)の予想D Iは全産業で▲56.8と今期比若干の上昇となっている。うち、製造業は▲62.4とD Iの上昇を見込んでいるが、非製造業は▲53.5で今期比横ばいを予想している。

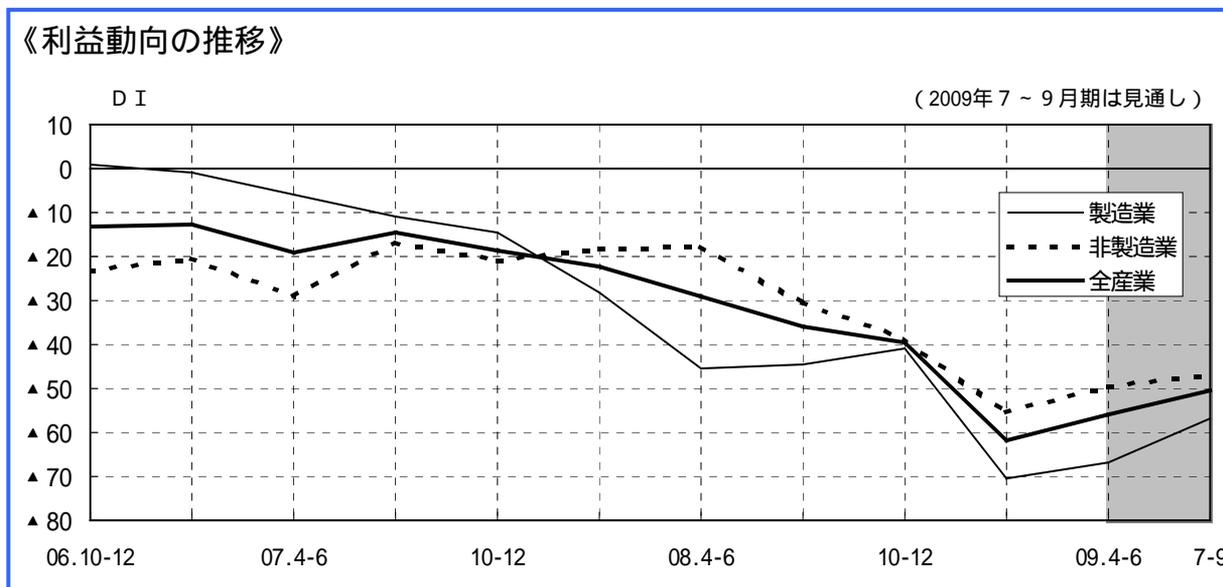


利益動向

製造業、非製造業ともD I上昇も、依然低い水準にとどまる

2009年4～6月期の全産業の利益動向D I (対前年同期比)は▲56.1(前期▲61.6)で、D Iは前期の大幅下落から転じて7期ぶりに上昇となった。うち、製造業は食料品や一般機械器具でD Iが低下したが、パルプ・紙・紙加工品やその他製造業では上昇し、全体D Iは▲67.0(同▲70.2)と若干上昇している。一方、非製造業でも建設業を除く業種でD Iが改善され、全体D Iは▲49.7(同▲55.7)と上昇した。ただし、いずれもD Iの絶対的な水準は依然として低く、下げ止まりや本格的な回復には時間を要するとみられる。

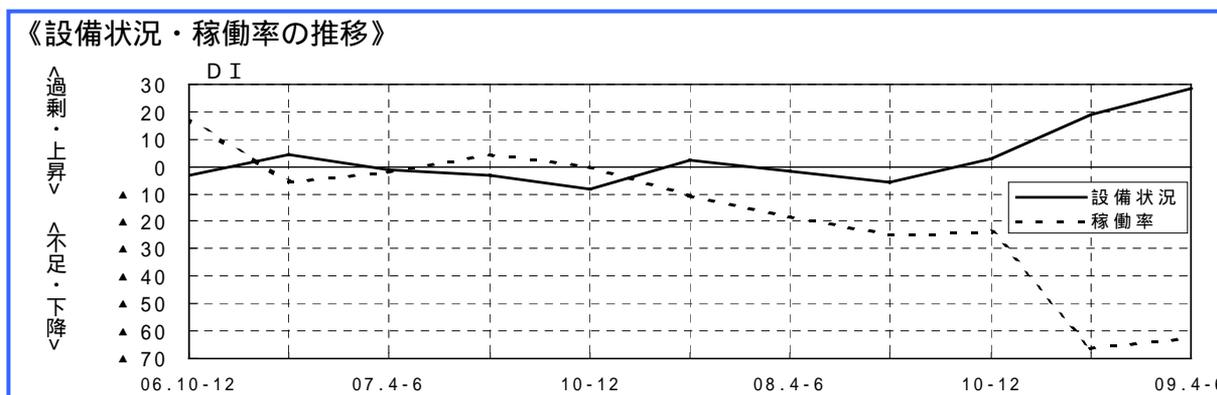
2009年7～9月期(見通し)の予想D Iは、全産業で▲50.5と今期比やや上昇している。うち、製造業の予想D Iは▲56.9、非製造業は▲46.7といずれもD Iの上昇を見込み、下げ止まりへの期待感が出ている。



**設備状況・稼働率
(製造業)**

設備状況はさらに「過剰」感、稼働率は若干上昇も低水準続く

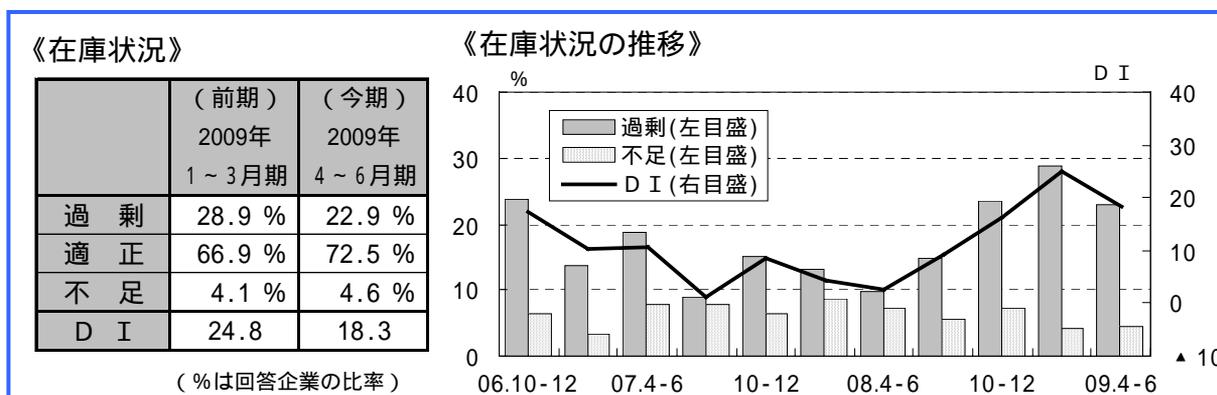
2009年4～6月期の設備状況DIは28.7(前期19.0)と連続して上昇し、さらに「過剰」感を強めている。業種別では食料品はDIが低下したが、金属製品や一般機械器具などでDIが上昇している。一方、稼働率DIは▲62.4(同▲66.7)で、DIは前期比若干上昇に転じたものの低水準が続き、判断は依然として「下降」が続いている。パルプ・紙・紙加工品や金属製品でDIが下落している。



在庫状況(製造業)

DIは前期比低下に転じ、在庫過剰感はやや緩和

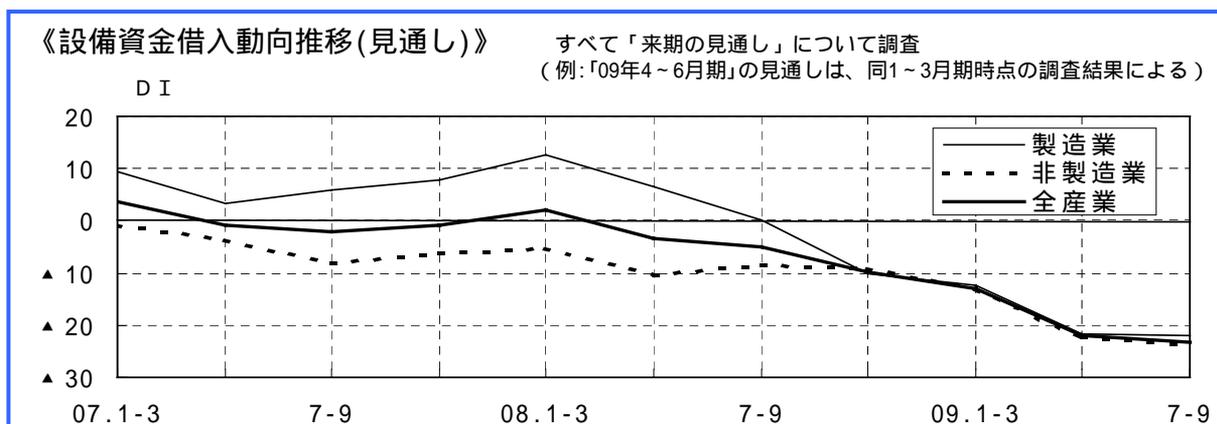
2009年4～6月期の在庫状況(製造業)DIは18.3(前期24.8)となり、在庫過剰感はやや緩和された。「不足」と判断する企業の比率は概ね横ばいであるが、「過剰」とした比率がやや低下している。業種別では、食料品やパルプ・紙・紙加工品でDIが低下し、食料品では「適正」水準となったが、金属製品や一般機械器具のDIは横ばいで、引き続き「過剰」感が強い。



**設備資金借入
動向(来期)**

製造業は概ね横ばい、非製造業はわずかにDI低下

2009年7～9月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲23.3(前期▲22.1)と6期連続で低下している。うち製造業は▲22.0(同▲21.7)と概ね横ばいで推移、非製造業は▲24.0(同▲22.4)とわずかながらDIの低下が続いている。



経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」「過当競争・製品安」に問題点が集中

「受注・売上の停滞・減少」の回答比率は81.0%（前期81.9%）と高水準で推移、2位の「過当競争・製品安」も47.3%（同45.6%）と上昇しており、各企業の主要な問題点がこの2つに集中する状態が今期も継続している。一方で「その他経費の増加」「原材料・仕入商品の値上がり」は比率・順位ともそれぞれ低下しており、原油価格上昇等の影響によるコスト上昇の重要性は著しく低下していることがうかがえる。

《経営上の問題点（上位8項目）》

（社、%）

	08年10～12月期		09年1～3月期		09年4～6月期		順位 変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	200	71.7	244	81.9	238	81.0	
2. 過当競争・製品安	99	35.5	136	45.6	139	47.3	
3. 人材の育成	87	31.2	87	29.2	86	29.3	
4. 生産・販売能力の不足	41	14.7	45	15.1	61	20.7	
5. 従業員の高齢化	59	21.1	54	18.1	57	19.4	
6. 人件費の増加	27	9.7	47	15.8	48	16.3	
7. その他経費の増加	53	19.0	50	16.8	46	15.6	
8. 原材料・仕入商品の値上がり	106	38.0	46	15.4	33	11.2	

《業種別：回答企業数およびDI》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	15	▲26.7	▲33.3	0.0	▲13.3	0.0	▲26.7
パルプ・紙・紙加工品	15	▲80.0	▲13.3	20.0	▲46.7	6.7	20.0
金属製品	20	▲100.0	▲100.0	45.0	▲80.0	20.0	▲20.0
一般機械器具	19	▲94.7	▲100.0	36.8	▲78.9	31.6	▲42.1
その他製造業	40	▲75.0	▲67.5	30.8	▲70.0	22.5	▲27.5
製造業計	109	▲77.1	▲67.0	28.7	▲62.4	18.3	▲22.0
旅館・その他宿泊所	18	▲66.7	▲61.1	-	-	-	▲5.6
その他小売・サービス業等	106	▲60.4	▲46.2	-	-	-	▲20.2
卸・小売・サービス業計	124	▲61.3	▲48.4	-	-	-	▲18.0
建設業計	61	▲37.7	▲52.5	-	-	-	▲36.1
非製造業計	185	▲53.5	▲49.7	-	-	-	▲24.0

特別調査：雇用・設備投資の状況

製造・非製造とも従業員数抑制の動き広がる、設備投資は全体の3割で対前年度比「減少」

最近の雇用状況（回答企業は一般アンケート対象と同じ、総数294）をみると、1年前と比較して正社員数が「大幅に減少・やや減少」とした企業は製造業で24.7%、非製造業で21.1%を占めている。同様に、非正規社員数については、製造業で33.9%、非製造業で18.3%が「大幅に減少・やや減少」としている。製造業の非正規社員だけでなく、正社員や非製造業においても約2割の企業が減少を指摘しており、従業員数抑制の動きが一定割合で全体に広がっていることがうかがえる。

また、今後（1年後）の動向については、従業員数が現在より「減少する」と予想する企業が、正社員では全業種の20.1%、非正規社員で同じく15.3%みられ、先行きについても厳しい見方が続いている。

一方、前年度と比較した今年度の設備投資計画については、製造業・非製造業とも「増加する」とした企業が10%程度に対し、「減少する」とした企業が約3割弱の水準に達しており、設備投資を抑制する動きがより強く現れている。

従業員数（1年前との比較）（%）

	正社員数			非正規社員数		
	製造	非製造	全産業	製造	非製造	全産業
大幅に増加	2.8	2.7	2.7	0.0	2.7	1.7
やや増加	10.1	10.8	10.5	1.8	10.3	7.1
概ね横ばい	58.7	63.8	61.9	56.0	58.9	57.8
やや減少	17.4	16.8	17.0	18.3	12.4	14.6
大幅に減少	7.3	4.3	5.4	15.6	5.9	9.5
無回答	3.7	1.6	2.4	8.3	9.7	9.2

従業員数（1年後の見通し）（%）

	正社員数			非正規社員数		
	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業	全産業
増加する	5.5	9.2	7.8	6.4	9.2	8.2
概ね横ばい	65.1	62.2	63.3	60.6	55.1	57.1
減少する	19.3	20.5	20.1	12.8	16.8	15.3
わからない	6.4	6.5	6.5	13.8	11.9	12.6
無回答	3.7	1.6	2.4	6.4	7.0	6.8

設備投資計画（前年度比）（%）

	製造業	非製造業	全産業
増加する	10.1	9.7	9.9
概ね横ばい	56.9	59.5	58.5
減少する	29.4	28.1	28.6
無回答	3.7	2.7	3.1